

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和5年2月8日(2023.2.8)

【公開番号】特開2022-103297(P2022-103297A)  
 【公開日】令和4年7月7日(2022.7.7)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-123  
 【出願番号】特願2022-80793(P2022-80793)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月31日(2023.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作する操作手段と、その操作手段の操作に伴って、第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置との間を動作可能とされる動作手段と、その動作手段を前記第1位置へ復帰させる復帰手段と、遊技者に対して前記操作手段を所定態様で操作させる期間において所定の報知をする報知手段と、を備える遊技機において、

前記操作手段を介して遊技者に反力を与えることが可能な反力発生手段を備え、

前記報知手段により前記所定の報知がされる期間外で前記操作手段が前記所定態様で操作される場合において第1状態から前記動作手段の動作態様が変化される第2状態へと前記動作手段の制御状態が切り替えられ、該状態の切り替えに伴って前記動作手段の動作態様

30

が変化され、該変化に基づく所定の判断を主制御手段によって実行可能に構成され、

前記反力発生手段が与える反力は、前記第1状態でも前記第2状態でも発生可能に構成され、前記操作手段の操作量に対応して変化され、  
前記遊技機は、前記操作手段が操作された場合に前記動作手段が動作しない所定状態を構成可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技者が操作する操作手段と、その操作手段の操作に伴って、第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置との間を動作可能とされる動作手段と、その動作手段を前記第1位置へ復帰させる復帰手段と、遊技者に対して前記操作手段を所定態様で操作させる期間において所定の報知をする報知手段と、を備える遊技機であって、前記操作手段を介して遊技者に反力を与えることが可能な反力発生手段を備え、前記報知手段により前記所定の報知がされる期間外で前記操作手段が前記所定態様で操作される場合において第1状態から前記動作手段の動作態様

50

動作手段の動作態様が変化され、該変化に基づく所定の判断を主制御手段によって実行可能に構成され、前記反力発生手段が与える反力は、前記第 1 状態でも前記第 2 状態でも発生可能に構成され、前記操作手段の操作量に対応して変化され、前記遊技機は、前記操作手段が操作された場合に前記動作手段が動作しない所定状態を構成可能である。

10

20

30

40

50